

メーリングリスト [umikatsu] における議論

No.	月/日	発信者	頁	内容
209	11/1	事務局（吉田）	1-2	【海活 30】 本日の議論まとめについて
211	11/27	事務局（吉田）	2	【情報提供】 令和 6 年 11 月 26 日 22 時 47 分頃の石川県西方沖の地震について

[umikatsu(209)] 【海活 30】 本日の議論まとめについて

投稿：事務局（吉田）

海域活断層評価手法等検討分科会
委員各位
事務局各位

文部科学省吉田です。お世話になっております。

本日は長時間にわたり、第 30 回海域活断層評価手法等検討分科会でご議論いただき、ありがとうございました。
本日の最後に、主に決まったことについて確認させて頂きましたが、下記のとおりメールにても共有させて頂きます。

○富山トラフ西縁断層帯付近の断層について（参考資料 1-2）

- ・富山トラフ西縁断層帯とは独立した断層として扱う。
- ・東端は佐渡沖の断層と繋げない。
- ・変位量については上越海丘（東縁断層）のデータを追いかけて堆積量から変位量を図り、参考にすることも考えられる。

○日本海南部の海域活断層の特性表案について（参考資料 1-3）

- ・七尾湾東方断層帯において、5c の高さについて石山委員から資料を頂き、事務局で確認する。
- ・海岸段丘から求めたものは上盤しか考慮していないので「以上」を付けた方がよい。

○能登半島周辺海域における活断層の変位速度の推定について（参考資料 1-4）

- ・最終氷期侵食面の年代は、P2 記載の案 1 とする。
- ・海士岬沖東、門前沖区間、沖の瀬東方の 3 断層については最終氷期侵食面の年代を使用し平均活動間隔を算出する。
- ・能登半島北岸断層帯については海成段丘の値を使えるかもしれないので、ステージ 5e の値を用いて検討してみる。

○平均変位速度ならびに平均再来間隔について（参考資料 1-5）

- ・手法①を使う方向。
- ・手法①について、混合型を横ずれ主体と縦ずれ主体の 2 つに分け、再度試算する。
- ・深さ、M の大小の影響についても検討。

○痕跡を認めにくい地震の発生確率等について（参考資料 1-6-1）

- ・日本海南西部と同様に進める。

○短い活断層による地震の発生確率について（参考資料 1-6-2）

- ・日本海南西部と同様に進める。

○活断層を特定しない地震発生確率の算出について（参考資料 1-6-3）

・案の通りパターン①、④の両方を記載することで進める。

○日本海南部の海域活断層の長期評価における区域分けについて

- ・海域東端について、今回追加した富山トラフ西縁断層帯の東の断層も含むように修正する。
- ・海域東端の陸側については曲げずに、上越沖断層帯（親不知区間）と平行になるような感じでまっすぐ伸ばす。
- ・2区域に分け、案②でよいが、鍵型にするのではなく、陸域の地質を参考に「くの字」のような感じに検討する。資料は石山委員より事務局に頂く。

○日本海南部の海域活断層の評価文の項目案について

- ・日本海南西部を基本とし、さらに可能性のある構造を陸域の地域評価に準じて簡潔に記載する。主要活断層帯の記載は省略の方向とする。

また、議事要旨（案）に誤字がありましたので、下記の同ファイルを差替えさせていただきました。

以上、どうぞよろしくお願い致します。

[umikatsu(211)] 【情報提供】令和6年11月26日22時47分頃の石川県西方沖の地震について
投稿：事務局（吉田）

海域活断層評価手法等検討分科会
委員各位

文科省吉田です。お世話になっております。

昨晚（11/26）発生しました「令和6年11月26日22時47分頃の石川県西方沖の地震」について、地震の震央位置は羽咋沖西断層付近となっております（気象庁資料）。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2411/27a/kaisetsu202411270045.pdf>

（P9・12に震央分布図、P13,14に震源周辺の活断層図があります）

地震調査委員会において、同地震の震央や断層との関係などが検討されるかと思います。
分科会の今後の審議にも、何らかに関わりがでてくるかもしれません。

以上、どうぞよろしくお願い致します。

以 上